

## 第9回インドビジネス情報サロン

第9回インドビジネス情報サロンを下記の通り開催しました。

日時：平成24年4月25日（水）午後4時～6時30分

場所：かながわグローバルビジネスセンター商談室

講師：GMC代表取締役 アイ・エム・チュガーニ氏

テーマ：「社員インドで企業で研修」

参加者：13人

## 第10回ディワリ・イン・ヨコハマに横浜インドセンターが出展しました。

今年は日印国交樹立60周年、例年にも増して会場の山下公園は、インド一色に染まります。インド舞踊と音楽、インド料理満載、インド文化体験と一日でインドが体験できます。横浜インドセンターも出展しました。

日時：2012年10月13日（土）、14日（日）10時～19時 雨天決行

場所：山下公園 入場無料

主催：ディワリ・イン・ヨコハマ2012実行委員会

問合せ045-263-8109

詳しくは、[案内チラシpdf](#)をご覧ください。

[www.diwaliyokohama.org](http://www.diwaliyokohama.org)

## アイセックインド人材セミナー

### ～インド進出・人材確保に向けて～

今年、日本との国交樹立60周年を迎え、より一層の注目を集めるインド。

日本企業も次々とインド市場へと乗り出しています。しかしながら、それに伴い、優秀なインド人材の採用やマネジメント・現地学生とのコネクションに悩む日本企業も多くあります。

そこで、インド19都市のトップレベルの大学をはじめ、世界110の国と地域に支部を持つアイセック・ジャパンと一般社団法人横浜インドセンターの共同主催により、海外インターンシップを利用したインド人材の確保とインド進出の可能性に関しましてご紹介しました。

【日時】 2012年7月27日（金）14時から16時20分

【会場】 ワークピア横浜 3階 かもめの間 <http://www.workpia.or.jp/>

住所：神奈川県横浜市中区山下町241

【内容】 14:00～14:25 ご挨拶、アイセック・ジャパン概要説明

14:25～14:45 受け入れ企業(TANAKA ホールディングス株式会社様)講演

執行役員人財開発室長 臼田直哉様

14:45～15:05 インド人研修生2名による研修(TANAKA ホールディングス株式会社)

15:05～15:15 質疑応答

15:30～16:20 交流会・名刺交換会（飲み物・軽食付き）

【参加者】 50人

【参加費】 講演：無料

交流会：一般社団法人横浜インドセンター 会員：無料 非会員：500円

主催：特定非営利活動法人アイセック・ジャパン 慶應湘南藤沢委員会インド事業部  
共催：一般社団法人横浜インドセンター

後援：横浜市経済局・横浜商工会議所・ジェトロ横浜・公益財団法人神奈川県産業振興センター  
社団法人横浜貿易協会・公益財団法人横浜企業経営支援財団

【申込方法】 事務局へFAXまたはe-mailにてお申込みください。

【お問い合わせ】 一般社団法人 横浜インドセンター 担当：村田

TEL：045-222-7300 FAX：045-222-7333 e-mail：[t11895sm@sfc.keio.ac.jp](mailto:t11895sm@sfc.keio.ac.jp)

## 「関東大震災被災者・在横浜インド人被災者追悼式」

「関東大震災被災者・在横浜インド人被災者追悼式」の報告（24.09.04）

関東大震災被災者・在横浜インド人被災者追悼式が9月1日 11時40分から山下公園インド水塔前で開催されました。

黙祷を捧げ、インド大使館アナンタクリシュナ参事官及び横浜市政策局国際政策室の三枝様の挨拶があり献花をいたしました。

とても厳かでありました。

HPでも呼びかけたこともあり、横浜インドセンター会員のみなさんをはじめ、在日インド人の方、花上喜代志横浜市議員、福島直子横浜市議員及び横浜市立横浜商業高等学校 GLOCAL-Y 部の部員のみなさんは横浜の史跡を巡り歴史を知ることが目的にしたクラブでこの日はクラブ活動の一環として出席してくださいました。



チャンドル アドバニ氏

横浜市立横浜商業高等学校

GLOCAL-Y 部の部員のみなさん

横浜インドセンター会員様からの情報です（24.08.28）

「関東大震災被災者・在横浜インド人被災者追悼式」のおしらせ

関東大震災被災者・在横浜インド人被災者追悼式を下記の通り開催されます。

皆様お誘い合わせの上ご出席ください。

日時：2012年9月1日 土曜日 11時40分から（雨天決行）

場所：山下公園インド水塔前



式次第

1. 主催者挨拶（11時40分）
2. 黙祷

3. インド大使館挨拶
4. 横浜市挨拶
5. 献花
6. 解散 (12 時)

※追悼式の後、交流会を開催いたします。

交流会：追悼式終了後 12 時 15 分から 「インディアンレストラン シタール」 (045-641-1496)

横浜市中区山下町 74-6 ロクマルビル B1

会 費： 1000 円

<http://www.i-sitar.com/>

主 催： 横浜ムンバイ友好委員会

お問い合わせ等は 横浜ムンバイ友好委員会

株式会社モナ内 西村ゆきひろ まで

メール [nishimura@mona.co.jp](mailto:nishimura@mona.co.jp)

電話 045-784-7126 F A X 045-784-7127

携帯 090-3107-3277

#### IDE Cによる横浜ビジネス相談会のお知らせ (24.08.24)

IDE Cでは横浜ビジネスエキスパート (国際相談員) による

地域別の国際ビジネス相談会を開催しております。

8月31日 (金) 13:00~17:00 はインドの相談会開催予定です。

お問い合わせ先

(公財) 横浜企業経営支援財団 国際ビジネス支援部

TEL : 045-225-3730

詳細

<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=111>

### JETRO様との共催セミナー

#### JETRO様との共催セミナー(24.08.30)

「インド自動車部品市場セミナー in 横浜」

今年、日本とインドは国交樹立 60 周年の節目を迎えました。

人口約 12 億人の同国に進出している日系企業は 2011 年 10 月時点で 812 社に達しており、特にムンバイ、チェンナイでは自動車部品製造業の集積が進んでいます。

本セミナーでは、ムンバイとチェンナイより講師を迎え、現地における日系等自動車部品市場の動向とジェトロの取り組みについて解説すると共に、現地進出のポイントと事例をご紹介します。

また、セミナー終了後のネットワーキングの場では、インド進出に関心のある中小企業を中心とした日系自動車部品サプライヤー企業の皆様の交流を図りました

■ 日時	2012 年 9 月 26 日 (水) 13 時 30 分 ~ 18 時 30 分 (受付開始 13:00~)		
■ 会場	ワークピア横浜 (横浜市中区下町 24-1) ※日本大通り駅 3 番出口 徒歩 2 分 セミナー: 2 階「くじゃく」、ネットワーキング: 3 階「かもめ」		
■ 内容	13:30~16:45	講 演 1. 「インドの自動車・自動車部品市場」 講 師: SKP グループ シニア・ビジネスアドバイザー ラビ・サンタナム氏 (逐次通訳)	

		<p>講 演 2.「インド西部における日系自動車・同部品メーカーの動向」 講 師:ジェトロ・ムンバイ事務所 次長 清水 淳太郎</p> <p>講 演 3.「インド南部における日系自動車・同部品メーカーの動向」 講 師:ジェトロ・チェンナイ事務所 所長 藤井 真也</p> <p>講 演 4.「インド進出のポイントと事例紹介」 講 師:有限会社ジーエムシージャパンリミテッド 代表取締役 I.M.チュガニ氏</p> <p>質疑応答</p>
	17:30～18:30	ネットワーキング
■ 共催	日本貿易振興機構(ジェトロ)横浜貿易情報センター、(社)横浜インドセンター	
■ 後援	神奈川県、横浜市、横浜商工会議所、(公財)神奈川産業振興センター、 (公財)横浜企業経営支援財団、(社)横浜貿易協会	
■ 参加費	無料	
■ 参加者	139 人	
■ お申込方法	2012年9月24日(月)までにウェブサイトから <a href="http://www.jetro.go.jp/events/seminar/20120824626-event">http://www.jetro.go.jp/events/seminar/20120824626-event</a>	
■ お問合せ先	ジェトロ横浜 担当:杉山、田中 TEL:045-222-3901 FAX:045-662-4980 E-mail: <a href="mailto:yok@jetro.go.jp">yok@jetro.go.jp</a>	

## インド投資セミナー／Doing Business in India

### ▶ インド投資セミナー／Doing Business in India (24.09.27)

外国企業のインド市場参入に伴う法律・規制面での課題への実践的な対策

2012年10月25日(木) 16時

開場 15:30 開演 16:00 ~ 18:00 (18:00-19:00 ネットワーキング有り)

産業貿易センタービル2階 横浜市中区山下町2番地 かながわグローバルビジネスセンター 商談室

【交通のご案内】地下鉄みなとみらい線 日本大通り駅(2番出口)下車 徒歩3分

主催: コーチャル・アンド・コ外国法事務弁護士事務所 (<http://www.kochhar.com/>)

共催: 一般社団法人 横浜インドセンター

(<http://www.yokohama-india-centre.jp/category/1256456.html>)

参加費: 無料 用語: 英語(日本語逐次通訳有り)

申込方法/締切: 受講申込書にご記入の上、2012年10月19日迄にFAXにてお申込み下さい。[受講申し込み書はこちらpdf](#)

#### 【プログラム】

##### 第一部

- インド基本情報
- 投資家としての課題を理解するためインドを理解する
- 近時の外国直接投資及び関連規制の改正
- 汚職防止法と海外腐敗行為防止法

##### 第二部

- 登録・免許
- 労働関連法
- 紛争解決
- 税務
- 実務上のノウハウ



【講師プロフィール】

リアナ・ロボ 外国法事務弁護士

合弁会社設立、企業買収等の外国企業によるインド進出、規制調査、契約締結、労務管理等の法務問題全般

IT・通信分野を得意分野としています。

会員資格: Bar Council of Delhi, India(デリー法曹協会)、第一東京弁護士会

出版物: 「New Rules for Telemarketing」(Computer Law & Security Review、共著)

【コーチャル・アンド・コ/Kochhar & Co.】

インド国内主要6都市、海外では、アラブ首長国連邦(ドバイ)、サウジアラビア王国(ジッダ)、米国アトランタ州ジョージア、シンガポール、東京の5拠点を有し、インド国内における大手法律事務所の一つ。

グローバル企業(フォーチュン500企業を含む)のインドでの法律顧問を務めている。

参加者: 22人

## 南インド投資セミナー～自動車部品市場への参入に向けて～

南インド特にチェンナイ周辺は、ルノー日産自動車をはじめ、多くの自動車メーカーが集積し、インドのデトロイトといわれ、日本企業の進出も急増しています。

自動車産業の集積がすすむ一方、部品供給体制の整備も急務といわれています。

チェンナイ周辺には、工業団地整備が進む中、今後日本の優秀な部品メーカーの進出が望まれています。

そこで、インド自動車部品市場参入に向けて、日産自動車（株）様、JETRO様、（株）エーイーエス様から講演をいただきました。

◆ 日時：平成24年11月28日（水）

セミナー：午後2時～午後5時

ネットワークング：午後5時～午後6時（飲み物、軽食付き）

◆ 場所：神奈川中小企業センター14階多目的ホール

横浜市中区尾上町5-80

TEL：045（633）5019

<http://www.kipc.or.jp/content/view/114/37/>

◆ 主催・共催：一般社団法人横浜インドセンター、独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）横浜情報センター、神奈川県中小企業団体中央会

◆ 後援：神奈川県、横浜市、横浜商工会議所、公益財団法人神奈川産業振興センター、公益財団法人横浜企業経営支援財団、社団法人横浜貿易協会、

◆ 講師（敬称略）

○日産自動車株式会社 購買モノ造りサポート部 主担 古市 充 氏

・講演テーマ

「インドにおける日産自動車の新工場建設の取り組みと今後の生産見通し」

○独立行政法人 日本貿易振興機構（JETRO）海外調査部

アジア・大洋州課 河野 敬 氏

・講演テーマ

「南インドの投資環境と工業団地等について」

○株式会社エーイーエス代表取締役 宮森 正人

・講演テーマ

「インド工場建設における技術的留意点」

◆ 参加者 87人

◆ 対象：自動車部品製造業及び関連事業者を優先。

◆ 参加料：無料

◆ 締切：11月22日（木）

◎ お申込み先：<http://www.yokohama-india-centre.jp>

◎ 問合せ先：一般社団法人横浜インドセンター

TEL：045(222)7300 FAX：045(222)7333

Email：[yic@ktpc.or.jp](mailto:yic@ktpc.or.jp)

**講演会：日本企業の新興アジア「現地化戦略」～ベンガル湾を越えた日本のモノづくり生産ネットワークの完遂～**

一般社団法人横浜インドセンター・横浜商工会議所 共催講演会

**講演会：日本企業の新興アジア「現地化戦略」**

**～ベンガル湾を越えた日本のモノづくり生産ネットワークの完遂～**

**講師：松島大輔 氏（タイ王国政府政策顧問）**

縮小する日本市場、加速する大手製造業の海外進出。一方優秀なモノづくり技術を有する中小製造業は、様々な要因で日本にとどまっている。

「空洞化」の恐れや誤解も日本ひきこもりの一因になっている。

この空洞化への誤解を解き、優れた技術を有する中小企業が、新しいビジネスチャンスの宝庫「新興アジア」に進出することが新たな成長の糧となることを、製造業の経営者、経済団体関係者などに提起した。

○講師：松島大輔 氏

○略歴：東京大学卒、経済産業省に入省、ハーバード大学修士課程修了。JETROニューデリー出向、現在タイ王国政府政策顧問

◆日時：平成24年12月7日（金） 10：00～11：40

◆会場：横浜シンポジア

〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業貿易センター9階

TEL：045(671)7151 FAX：045(671)7157

◆対象：横浜市内企業、神奈川県内企業関係者を優先します。

◆主催・共催：一般社団法人横浜インドセンター 横浜商工会議所

◆後援：神奈川県、横浜市、公益財団神奈川産業振興センター、公益財団横浜企業経営支援財団、社団法人横浜貿易協会、社団法人神奈川県商工会議所連合会、独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）横浜貿易情報センター

◆費用：無料

◆参加者：93人

◆締切：12月3日

◎お問合せ先・申込先

一般社団法人横浜インドセンター：<http://www.yokohama-india-centre.jp>

電話：045(222)7300 FAX：045(222)7333 E-mail：[yic@ktpc.or.jp](mailto:yic@ktpc.or.jp)

## 横浜インドセンター新春講演会

### 横浜インドセンター新春講演会

#### ●[爆発するインドの中間層、世界一の消費市場に商機あり]

2025年には、インドの中間層は6億人になると予測されている。しかし世界一といわれるインドの消費市場を狙う日本企業の動きは欧米、韓国企業に比べると活発ではない。インフラ整備の遅れや商習慣の違いなど、日本企業のハードルは高い。今後爆発するインドの中間層、だからこそ商機ありだ。デリーに在住し、インド中間層の生活を長年ウオッチしてきた講師からインドビジネスの商機を探る。

- ◆日時：平成25年2月4日（月） 午後3時～4時30分
  - ◆会場：ワークピア横浜3階かもめ <http://www.workpia.or.jp/>
  - ◆講師：インフォブリッジ代表 繁田 奈歩 氏 デリー在住
  - ◆講演内容：都市部をはじめ地方都市も含め、爆発的に増大するインド中間層の消費行動やその変化をとらえ、日本企業のインドにおける商機を語っていただき、関係する幅広い業種の方に、インドの消費市場参入を勧める。
  - ◆費用：横浜インドセンター会員：無料 非会員：2,000円
  - ◆参加者：82人
  - ◆主催：一般社団法人横浜インドセンター
  - ◆後援：神奈川県、横浜市、横浜商工会議所、独立行政法人日本貿易振興機構横浜貿易情報センター、（公財）神奈川産業振興センター、（公財）横浜企業経営支援財団、社団法人横浜貿易協会、社団法人神奈川商工会議所連合会、神奈川中小企業団体中央会
- ◎詳細・お申込み  
→[新春講演会お申し込み書はこちら](#)

- ◎お問合せ先  
一般社団法人横浜インドセンター事務局 岡本 孝夫  
電話：045(222)7300 FAX：045(222)7333  
E-mail：[yic@ktpc.or.jp](mailto:yic@ktpc.or.jp)

#### ★同時開催事業

\*\*\*\*\*  
インドビジネス相談会  
\*\*\*\*\*

- ◆日時：平成25年2月4日（月） 午後4時30分～5時30分
- ◆会場：ワークピア横浜3階かもめ <http://www.workpia.or.jp/>
- ◆相談員：横浜企業経営支援財団相談員による相談
- ◆費用：無料
- ◆相談方法：事前申込制 講演会の申し込みに合わせて、相談項目・相談内容を事前に記載し、申し込む。講演会終了後会場にて実施。
- ◆主催・共催：（公財）横浜企業経営支援財団、（一社）横浜インドセンター



## スカイプにより日印企業がプレゼン及び個別商談会を実施

テクニカルショーヨコハマ2013

### スカイプにより日印企業がプレゼン及び個別商談会を実施

超円高により、中小企業の国際展開への関心が高まっていますが、中小企業の海外進出を阻む要素として「距離の壁」、「言葉の壁」、「商習慣の壁」という3つの壁があります。

今回スカイプという通信手段を用い、海外との距離の壁を取り払い、同時通訳により言葉の壁も乗り越え、インド・チェンナイのAOTS同窓会がインド側の窓口となって、中小企業の海外取引や海外進出を円滑に行う試みをテクニカルショーで次のとおり実施しました。

◎テクニカルショーは入場無料

◎テクニカルショーのURL;<http://www.tech-yokohama.jp/>

### 日印企業による公開プレゼン

◆日時：

平成25年2月6日（水）午後1時～1時50分

◆会場：

日本側：テクニカルショーヨコハマ2013プレゼン会場C（パシフィコ横浜展示ホールCD）

インド側：インド・チェンナイAOTS同窓会事務局会議室

◆プレゼン企業：

日本企業 テクニカン（横浜市内企業：冷凍機器）

インド企業（1）クラシックグループ（プレス用金型、精密型抜き用金型、治具）

インド企業（2）プレジジョングループ（熱交換器、加熱器・復水器、自動車部品）

◆プレゼンの方法：

日本側・インド側双方に同時通訳者を配置し、双方のプレゼンを同時通訳者を介して、日本側には日本語、インド側には英語でそれぞれの会場の参加者に対して、プレゼンを公開する。

◆参加者：

日本側：プレゼン会場C 企業関係者40人

インド側：AOTS同窓会会議室 企業関係者40人

### 日印企業による個別商談会

◆日時・場所

◎個別商談会は、神奈川県中小企業団体中央会と横浜インドセンターのブースで行います。

個別商談会の場所	2月6日	2月7日	2月8日
中央会ブース	14時～15時30分	15時～16時	15時～16時
インドセンターブース	16時～17時	16時～17時	16時～17時

### 横浜インドセンターブース内イベントスケジュール

時間	2013/2/6(水)	2013/2/7(木)	2013/2/8(金)
10:00	10:00～12:00 GMC JAPAN LTD.	10:00～12:00 株式会社	10:00～12:00 ジェネシス株式会社
11:00	「インドビジネスの成功への3要素」	IBCTレーディング 「インド産最高級コーヒーのご紹介」	「印度の魅力と市場参入」
12:00			
13:00			
	13:30～15:30		

14:00	株式会社AES 「自動車生産技術・環境 ビジネス(AES共同開発 消臭システム)及びイン ド進出支援について」	14:00～16:00 株式会社 サイマコーポレーション 「機械要素部品の小口販 売について」	14:00～16:00 株式会社ディムコ 「世界唯一技術！シームレ ススリーブ及び吸着ベルト について」
15:00			
16:00	16:00～17:00 SKYPE 商談会 株式会社モナ	16:00～17:00 SKYPE 商談会 株式会社 サイマコーポレーション	16:00～17:00 SKYPE 商談会 株式会社ディムコ

◆個別商談会の方法：プレゼン企業及び個別商談会参加企業の資料を日印双方に送り、商談会希望企業を募集し、当日資料に基づき、商談をすすめる。個別商談会は、日印双方個別に行います。商談会の様子は、ブース外から見るができます。

◎お問い合わせ：横浜インドセンター事務局 岡本 孝夫

TEL：045-222-7300 FAX:045-222-7333

Eメール:yic@ktpc.or.jp

### インド・チェンナイ視察ツアーのご案内

インド・チェンナイ視察ツアーのご案内～印日中小企業会議への参加～

チェンナイ4泊 特別料金

タミルナード州チェンナイに本部を置く印日商工会議所（クリシュナスワミ会長）は、横浜を度々来訪し、今年も5月15日に来浜し、横浜インドセンターと共催でタミルナード州の投資環境セミナーを開催するとともに、延37件の企業間個別商談会も行いました。

同会議所は来年2月18日、19日の2日間、印日中小企業会議を実施しました。

◆ 日時：2013年2月16日（土）～2月21日（木）

◆ 集合場所：成田 午前9時

◆ 主催：印日商工会議所

◎お問い合わせ先：本視察ツアーのお問い合わせは、印日商工会議所日本代表クリシュナクマール・スンダラム 氏

Eメール：[ksundaram.mirai@gmail.com](mailto:ksundaram.mirai@gmail.com)

TEL：03（3686）6968（株式会社インドウェーブ）

◆ 協力：日本商工会議所 日印経済委員会

◆ 旅行代金：198,000円（会議参加費用込）

◎おとな1名様（2名1室利用）

◎お一人様部屋追加代金：25,000円

◎別途空港施設利用料・海外空港税、燃油サーチャージで45,000円程度必要

◆利用航空会社：エアインディアを予定

ビジネスクラス（国際線のみ）は150,000円追加

◆ 利用ホテル：サヴェーラホテル チェンナイ（主催者側指定ホテル）

◆ 申込締切日 2013年1月15日（第1次締切）最終受付締切1月末

◆ 募集人員 30名（最小催行人数 2名）定員に達し次第締め切ります。

◆ 旅行申込及び取扱会社：日本エアビジョン株式会社

◆ 旅程等：添付の行程表をご参照ください。

## 南インド・インフラセミナーのお知らせ

現在、タミル・ナドゥ州では、自動車産業を中心に製造業の集積が急速に進展しています。

しかし、工業化のスピードに対し、産業インフラの整備が十分に進展しているとはいえず、進出企業にとって大きな課題となっています。

そこで現地政府は産業インフラの整備に注力しており、都市鉄道、環状道路、火力発電所、港湾、空港の拡張プロジェクト等が多数計画されています。

また、民間ベースでも、特に進出企業の需要が大きい発電、港湾、水、工業団地等の開発プロジェクトが進行しています。

本セミナーではジェトロ・チェンナイ事務所の調査担当者がタミル・ナドゥ州の投資環境を解説するとともに、インフラビジネスを支援するために設置しているインド人コーディネーターがインフラビジネスの状況や特徴、日本企業がインフラビジネスに参画する上でのヒントを紹介しました。

また、インドの有カインフラ関連企業5社が来日し、プレゼンテーションを行いました。

インドのインフラビジネスに参画するためには、現地企業とのパートナーシップ構築が課題のひとつとなっており、そのきっかけとなる貴重な機会です。

- ◆ 日時：平成25年3月6日（水）午後1時30分～4時30分
- ◆ 場所：ワークピア横浜 3階「かもめ」（横浜市中区山下町24-1）  
終了後、3階「いちろう」でインド企業とのネットワークキングを行いました。（～5時30分）

<http://www.workpia.or.jp/access/>

- ◆ 主催・共催：独立行政法人日本貿易振興機構横浜貿易情報センター  
一般社団法人横浜インドセンター
  - ◆ 後援：神奈川県、横浜市経済局、（公財）神奈川産業振興センター、  
（公財）横浜企業経営支援財団
  - ◆ 講師（敬称略）及び講演内容一日英同時通訳、途中休憩をはさみます。
    - 1 「タミルナドゥ州における投資環境」  
ジェトロ・チェンナイ事務所 長谷川貴史
    - 2 「タミルナドゥ州におけるインフラビジネスの現状と特徴」  
ジェトロ・チェンナイ事務所 カタレ・ゴパールオ・スレシュ
    - 3 「タミルナドゥ州におけるインフラビジネスのメリット」  
日揮株式会社、株式会社みずほコーポレート銀行
    - 4 「インフラ関連インド企業によるプレゼンテーション」（会社概要添付）
      - (1) L&T Integrated Engineering Services  
Mr. Subashish Pal, Country Head-Japan
      - (2) GMR Group  
Mr. Madhu Terdal, CEO-Urban Infrastructure
      - (3) Krishnapatnam Port Company Ltd (Navayuga Group)  
Mr. Chinta Sashidhar, Managing Director, Mr. Legala Vijayanand Reddy, Director
      - (4) OPG Energy Japan  
Mr. Dheeraj Bhansal, Resident Director
      - (5) Daarsel International  
Mr. R. Selvakumaran, Founder & Consultant Engineer
  - 5 質疑応答
- ◆ 参加者 76人
  - ◆ 参加料：無料
  - ◆ 締切：平成25年3月4日（月曜）午後5:00
  - ◎ 問合せ先：ジェトロ横浜事務所（担当：杉山、田中）  
TEL：045-222-3901、E-mail: yok@jetro.go.jp

参加インド企業一覧

No.	会社名	企業概要
1	GMR	バンガロールに本社を置く、インドインフラ大手の1社。国内外で、空港、高速道路、発電事業の実績あり。ホスールで工業団地の開発を実施中。同地に、日系専用地区を企画しており、日系のパートナーを募集中。
2	Navayuga Group/Krishnapatnam Port	アンドラ・プラデシュ州に本社を置くナワユガグループは大手インフラ開発グループ。道路、発電所、鉄道、工業団地、港などのインフラを開発している。クリシュナパトナム港もその中のプロジェクト。ナワユガグループとしてはインドでEPC、各種インフラ開発における日本企業のパートナーを探している。
3	OPG	チェンナイに本社を置く石炭火力発電 IPP・CPP 事業者。現在 160MW の発電量を保有しており、今後 80MW の増設計画有り。同社は日本での太陽光発電プロジェクト、及びインドにおける連続電力供給を目指す工業団地の共同開発パートナーを探している。
4	L&T Integrated Engineering Services	インドインフラ最大手 L&T のエンジニアリング部門。プラントエンジニアリングから自動車部品のエンジニアリングまで手広く手掛ける。インドにおける工業団地、タウンシッププロジェクト等を開発する日本企業のパートナーを探している。
5	Daarsel International	タミル・ナドゥ州に本社を置く、水処理(下水、排水、上水)事業の中小企業。システム設計、処理所建築の管理と保守を実施。水処理技術、水処理プラント機器の日本企業のパートナーを探している。中小ではあるが、スリランカ、インドネシア、マレーシアといった海外でのプロジェクト実績ももつ。